

C.W.ニールさん講演会

私の所属する福山山岳会の主催で、C.W.ニールさんの講演会を開催しました。

ニールさんは、「水は山森から生まれ、子供るとき山や川で遊んだ経験のない人は自然の大切さが分からない。美しい日本をつくるため子供たちを連れて山に行こう。美しい国をつくるには森と川を大切にしましょう。」と話されました。今回の講演会を聞き逃した方は、ぜひニールさんの本をお読み下さい。「誇り高き日本人でいたい」発行：アートデイス



真の障害者自立支援に向けて

進行性筋ジストロフィー症により人工呼吸器を付けて入院中の吉田正弘さん(39歳)から、病院や施設は業務優先であり、そこから脱して自分自身が主体性を持つて生きたいと相談を受けました。

しかし、人工呼吸器を使用した重度障害者が「あたりまえ」の生活をするには、制度や行政をはじめ多くのバリアがあります。彼にとって人工呼吸器は生命維持装置ではなく、車椅子と同様に生活のための補助員であり、周りのサポート環境があれば、アパートを借りて介護者をつけ、地域社会で暮らせます。彼の真の自立に向けて、医療・福祉関係者の支援を募っています。

また、彼は不自由な手で絵手紙を描いており、アシスタント・ボランティアを募集しています。



大田家の「エコライフ」楽しくてエコ

★自転車で移動

リュックを背負い、ズボンの裾を留めて、今日も行く！
見かけたら手を振って下さい！



★車の燃料はバイオディーゼルの燃料を使っています。

大田記念病院では職員や患者さんから廃食用油の回収を行っています。福山バイオエネルギーセンターにてバイオディーゼル燃料に精製してもらい、夫がらの香りを味わいながら運転しています。

★ノーエアコン生活

壁面緑化(藤とオーシャンブルー)とヨシズの効果、扇風機、竹シーツ、氷枕などの涼感グッズを駆使して、猛暑にもかかわらず、電気代過去最低で乗り切りました。

★庭へ散水・打ち水効果

お風呂の残り湯は洗濯と手製の散水装置で庭木に散水、家の前の水路からポンプアップもしました。

★マイバック

市のキャンペーンのおかげで、お店の方から「え？袋いらなんでしょうか？」という反応がなくなり、嬉しくなりました。

★石けん生活

洗濯、食器洗い、歯磨き、シャンプーと、生活全般で石けんの使用に切り替えました。特に洗濯石けんに何度もくじけながら、やっとコツをつかみかけました。上手な石けんの使い方をどなたか伝授してください。

★節電

子供たちはTVで南極のペンギンの赤ちゃんが雨に打たれ死んでいく様を見て以来、「ペンギン達が困るから」と電気をこまめに消し、見たいテレビも主題歌が歌い終わるのを1分待ってスイッチを入れる、と細かい心配りをしています。電球も省エネタイプに切り替えています。

★太陽光発電と薪ストーブ

「山晴建設」施工のソーラーパネル、着々と仕事してくれています。冬は「小島」施工の1台の新薪ストーブで家全体が温もり、ゆるる炎の癒し効果も抜群です！



★マイ著

子供の「マイ・フォーク持参」からスタートしました。当初はよく忘れて帰り、「忘れ物ですよー」と度々迷惑をかけた。続けるためには、お気に入りの「箸袋」を見つけたのがポイントです。

今年の猛暑に皆さんもうんざりされた事でしょう。ほんのちっけな取り組みですが、「地球のため」「子ども達のため」「ペンギンのため」「家計のため」も加わり、家族で楽しんでいきます。皆さんの「エコ」話も聞かせて下さいね。

編集後記

合併前に立ち寄った「かなべ図書館」で、お気に入りの本が借りられず涙した息子。この夏休みに連れて行ってやると、「ほくのためにガッペイしてくれたん？」と喜んで借りて帰りました。シリーズ本にはまり、しばらく通いそうです。返却はどの館でもできるし、展示も蔵書も各館違い、あちらこちらを歩き来して楽しんでます。中央図書館も来年7月の完成を目指し工事中、どんな愛称になるか楽しみです。(K)

ホームページ <http://www.kkochan.com/>
メール orion@urban.ne.jp

芦田川水質ワースト1の返上 私達の税金を未来の子供たちのために使いましょ

水質改善を目的とした「基金」の創設について

広島市民球場の「たる基金」を参考に、芦田川の水質改善を目的とした「基金」を創設し、企業・市民からも寄付を募りたいと考えています。水質浄化運動を全体的に広めるために、各地域で生活排水の低減や、水路の水質浄化に取組み、基金から活動費を補助する方法です。

また基金により、子供の親水イベントの開催や、合併処理浄化槽の設置補助や、下水道接続の向上など目指してはいるかがでしよつか。未来の子供達に美しい福山を残すのが私達の使命であり、「音は良かった」では可哀想です。



皆さんこんにちは、大田ゆうすけです。芦田川は34年連続水質ワースト1です。これは、福山市民がワースト1であると言われているのと同じだと私は思います。今こそ官民一致団結して、ワースト1返上に向けて立ち上がる時です。

河口堰の費用対効果について

工業用水を配水するために建造された河口堰は、福山市発展の礎を築いた功績は大きく、高く評価されるものです。しかし、そろそろ河口堰により失われた利益の検証を行う必要もあるのではないのでしょうか。



現在JFE福山製鉄所における工業用水の循環率は95%であり、その結果、河口堰の貯水量450万トンに対して、取水量は建設当初予測の半分の日量わずか7万トンです。しかも、堰のランニングコストは年間5億円弱かかっています。環境負荷が大きく、経費もかかる河口堰に、いつまでも頼る考えを打破しなければなりません。

ここでたとえ話を一つ、高度経済成長期に働き者の若夫婦が福山に引っ越して来ました。夫婦は多くの子宝に恵まれ、広い大きな屋敷を建てました。しかし福山に引っ越して30年、いつしか子供も成長し巣立つて行き、大きな屋敷に老夫婦が二人残され、正直、屋敷を持て余すようになりました。しかも、市内の二等地である土地の固定資産税も高く、以前より屋敷の庭の池にやぶ蚊が大発生し、近所から苦情を言われる事などもあって、この際、屋敷を売却して、駅前のマンションへ転居するかという話になりました。

とまあ、こんなシナリオを描いているわけですが、いかがでしょうか？

駅前のマンションとは、下水処理場「芦田川浄化センター」の処理水の再利用です。

子供を川で遊ばせましょ

川を綺麗にするには、「川を愛する人づくり」が必要であり、川を利用する機会を増やすことです。例として乗らなくなった自転車もいつか綺麗にしておく事は難しく、すぐ錆び付いてしまつてしまいます。同様に市民が利用しなくなった川は汚れて当然です。

具体的には、子供の川遊び(魚を捕まえること)をする機会を増やしたいと考えています。安全な川遊びは「指導者」がいないと難しく、現に今年の夏は全国で水難事故が多発しました。それも子供に限らず大人まで、それほど日本中が水辺の遊びに不慣れになっていきます。

私は小学校の水泳教室のコーチや、山野峡で川遊び体験、芦田川で川下りをしたりしています。川に連れて行くと、子供たちは本当に喜びます。よくうちの子はゲームばかりして困ると言いますが、ちゃんと自然の中で遊べる環境を作れば、ゲームなんて見向きもせん。



鞆のまちづくり

9月議会にて、鞆の埋立架橋計画の早期実現を求める請願書の採択が行われました。私は賛成・反対の住民いすれも鞆を愛してあり、鞆の発展を願っておられる事を理解しているつもりです。しかし、鞆の発展のために事業が必要か否かという点で、住民間に大きな亀裂ができています。

私としてはこれ以上の対立は避けたいという思いがあり、旗色を鮮明にするよりは、賛成派・反対派の両者の仲介ができる存在でありたいと考え、請願の採決を棄権しました。

反対・賛成いずれの立場を取る方々も、以下については意見が一致すると思えます。

●鞆の浦の景観、まちなみは、地元財産・観光資源として引き続き大切である。

●埋め立てで意見は違っても、他の面では仲良くした方がよい。

一議員の力は微力ですが、埋め立てがどうなるうとも、鞆の浦に美しい景観があることに変わりはなく、長期的に良いまちづくりを進めていくことが大事だと、私は考えられます。



「龍馬の宿」の前にて



ストリートミュージシャン 森恵さんと



鞆の港をバックに 歌う森恵さん



きもの日和 TOMOに参加の皆さん

大田ゆうすけ 新年会

2期目に向けた「ゆうすけ・マニフェスト」を説明する予定です

早いもので、来年4月は選挙です。私は「ローカルマニフェスト推進地方議員連盟」に所属し、マニフェストについて勉強しています。

マニフェストとは、従来の選挙にありがちな「元気の福山市」といった抽象的な公約ではなく、「何を」「何時までに」「どの財源で」「どうやって実現するか」の4点が明確でなければ、マニフェストとは言えません。「お願い」から「約束」へ、公約(空手形)からマニフェストへ。これからはマニフェストを読んで選挙に行きましょう！



マニフェストを讀んで選挙に行こう

日時 1月26日(土)13時30分
会場 ニューキャッスルホテル
主催 大田ゆうすけ後援会

活動報告

Table with 2 columns listing various activities and events from January to September, including conferences, performances, and community events.

イベント案内

第三回企画展「まちづくりのフォーラム」

11月23日(金) 鞆・日本心

「鞆・日本心」フォーラム(常夜灯前)
★百面打ち(常夜灯前) 50面打ち(一回、定員百名(13時~17時 参加費千円、抽選)
指導：大竹英雄九段、名譽棋聖、武宮正樹九段
大矢浩九段、小川誠子六段他

★囲碁入門講座(無料、当日受け付け)
★プロ棋士と囲碁ファンの交流会
(17時30分~19時30分 参加費3千円、抽選で50名)

11月24日(土)
「記念講演・心のトーク&コンサート」(常夜灯前)

★鞆の浦の歴史的まちなみ・古建築の視察とフォーラム(10時~12時)
鈴木 有(金沢工業大学名誉教授)

★記念講演「歴史的まちなみの保存と耐震補強」
鈴木 有(金沢工業大学名誉教授)
近八幡市重伝建地区保存審議会委員、耐震化小委員長

★心のトーク(14時35分~15時45分)
小川 誠子(囲碁棋士六段)
*小川氏のエッセー「師の言葉」が東京・世田谷区の哲学の教科書に採用された。

★心の唄 in 鞆(16時45分~18時)
*涙そうそう、神田川、百万本のバラ、島唄あさみの歌、無縁坂、故郷ほか
木谷正道(ギター弾き語り)・芳沢憲明(シンセサイザー)・竹DOS(創作ソロ手話唄)

*DG(Dear Singer)聴覚障害者の唄(手話)
20歳で失聴し、創作ソロ手話唄で音楽に復帰

主催 NPO法人 平塚・喜うしと耐震協議会
TEL&FAX...:04663357512
「鞆・日本の心」実行委員会
後援 福山市教育委員会 日本棋院福山中央(百面打ち申し込み先 084-925-2555)

第20回虹の会

テーマ
「マタボ予防の講演会や体験コーナーもあり、どなたでも参加できます。
美味しい「醤油はん」の販売もあります。
日時 11月23日(祝) 10時~12時30分
会場 ニューキャッスルホテル
主催 脳神経疾患サークル「虹の会」

おがにゅくフェスタ福山・2007

地球環境をいろいろな観点で考え、美しい地球を自分たちで守りましょう。自分自身のために、そして何よりも未来の子供達のために...「食と平和と環境」をわかりやすいカタチでお伝えします。
日時 12月2日(日) 12時30分~19時30分
会場 ビックローズ
入場料 前売9,700円、当日30,000円
ゲスト 「てんつくまん」こと軌保博光さん
南め風人・まーちゃんバンド(沖縄三線ライブ)
NGOテラル・ルネッサンス代表 鬼丸昌也さん
「まーてる先生」こと宮崎正照さん
山崎泉さん(ギター弾き語り)
主催 オガニックセラピー協会
TEL...:084-918-2751
http://ota.or.jp